

## 木材検査、原寸検査

去る2月18日・19日の日程で、木工事を行う岐阜県関市の作業場において、木材検査と原寸検査を行いました。

木材検査では、鏡柱をはじめとする柱材の乾燥後の状況を検査し、反り具合を計測し、大きな狂いや割れがないかを確認しました。

工事の監督員(鹿児島県担当者)と監理者の厳しいチェックを経て、全ての木材が合格しました。



日本にもまだこれだけのケヤキの大径木材があったんですねえ。

原寸検査は、作業場内に敷き詰めたベニヤ板に実物の御楼門の大きさを図面を描き納まりや寸法、屋根や軒先の反りを確認する検査です。

宮大工棟梁が良く撓る木製の定規を使って、屋根や軒先の曲線を描いていきます。



実物の大きさを目の当たりにすると、いかに御楼門が大きいか。一同 驚愕です。



今日の確認結果を踏まえて、いよいよ木材の加工に取りかかります！

